

環境に優しいまちづくり「エコシティなんこく」
南国市エコプラン推進基本大綱



平成22年3月策定

南 国 市

はじめに

南国市は、古代から中世に至る長い間、土佐の政治・経済・文化の中心都市として繁栄してきました。この繁栄を支えたのは、人々が暮らしを営むのに最も適した南国の豊かな大地でした。

四国山脈に源を発する清流「物部川」は、清らかな水の流れて山を削り、森の栄養を蓄え、肥よくな香長平野を作り、広い田園地帯を潤し、南国の野菜・果物・花卉などを育てています。一年中温暖な気候の南国は豊じょうな大地と豊かな水に恵まれ、土佐の稲作発祥の地となりました。物部川の水の流れは豊富なミネラルを土佐の海にもたらし漁業振興にも多大な貢献をしています。このように、南国市は自然環境とともに生き発展を遂げてきたまちです。

しかし、私たちの日常の暮らしや事業活動において化石燃料などから排出される大気中の温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、フロンなど）の増加により、地球本来の保温バランスが崩れ地球温暖化現象を引き起こしています。地球温暖化は、異常気象・海面上昇などの生活環境のみならず経済社会・国際関係などにも大きな影響を与え人類にとって「待ったなし」の深刻な問題となっています。

これらに鑑み、南国市は地球とともに生き、美しい国「日本」を持続させ、南国市の自然環境や社会環境を守る『環境にやさしいまちづくり「エコシティなんこく」』の実現を目指すとともに、その運動・活動を市民の皆様一人一人と一緒に進めてまいりたいと思います。

その取組の第一歩として、『環境にやさしいまちづくり「エコシティなんこく」—南国市エコプラン推進基本大綱』を策定しました。

「南国市エコプラン推進基本大綱」は、将来に向けて南国市のあるべき姿を描くものであり、南国市の環境政策の理念やエコエネルギー政策のあるべき姿、策定すべき政策などの基本事項を示したものです。この「南国市エコプラン推進基本大綱」に基づき、今後、南国市として具体的に取り組む施策や方針である「南国市エコプラン実行計画」を市民の参加を得て市民の目線で策定します。

また、「鳩山イニシアティブ」に基づく、温室効果ガスを2020年までに1990年比25%削減を実行するための環境省による「チャレンジ25地域づくり事業」にも参画します。これは物部川流域3市（南国市、香南市、香美市）の関係機関で構成された「チャレンジ!エコスタイル物部川流域協議会」により推進される事業です。

南国市を始め物部川流域の市民の皆様と一緒に「地球温暖化防止フロントランナー」として、「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然共生社会」のまちづくりを目指して、自然環境の改善のためのアクションを起こし、地域経済の活性化にも積極的に取り組んでまいります。

平成 22 年3月

南国市長 橋詰 壽人

目 次

1. 南国市エコプラン推進基本大綱の目的及び趣旨	1
2. 南国市が目指すまちづくり	1
3. 南国市エコプラン推進基本大綱の位置づけ	2
4. 施策の大綱	3
5. 重点施策	4
6. 市・市民・事業所の役割	5
7. 推進体制及びスケジュール	7
8. 成果の公表	8
資料－1 平成 22 年度環境省重点施策	9
資料－2 エネルギーに関する補助制度	
(1) 小水力発電助成制度	1 1
(2) 新エネルギー助成制度	1 2
資料－3 用語集	
(1) 地球環境に関する基本的用語集	1 4
(2) 新エネルギーに関する用語集	1 8
(3) 省エネルギーに関する用語集	2 4

1. 南国市エコプラン推進基本大綱の目的及び趣旨

南国市が環境やエネルギーの先進的な都市『環境に優しいまちづくり「エコシティなんこく」』の実現に向けて、今後、進められるエコエネルギー計画・まちづくり計画などの諸政策の策定に当たり、計画の基本的な考え方や目的を以下に挙げます。

- (1)地球温暖化など地球的規模の環境問題について考えます
- (2)地球温暖化防止行動計画について方向性を示します
- (3)新エネルギーの導入促進、省エネルギーの徹底など、エネルギー利用の方向性を示します
- (4)グリーン・ニューディール関連事業を積極的に取り入れるとともに財政的検討を行います
- (5)国・高知県及び南国市における関連計画などとの位置づけを明確にします

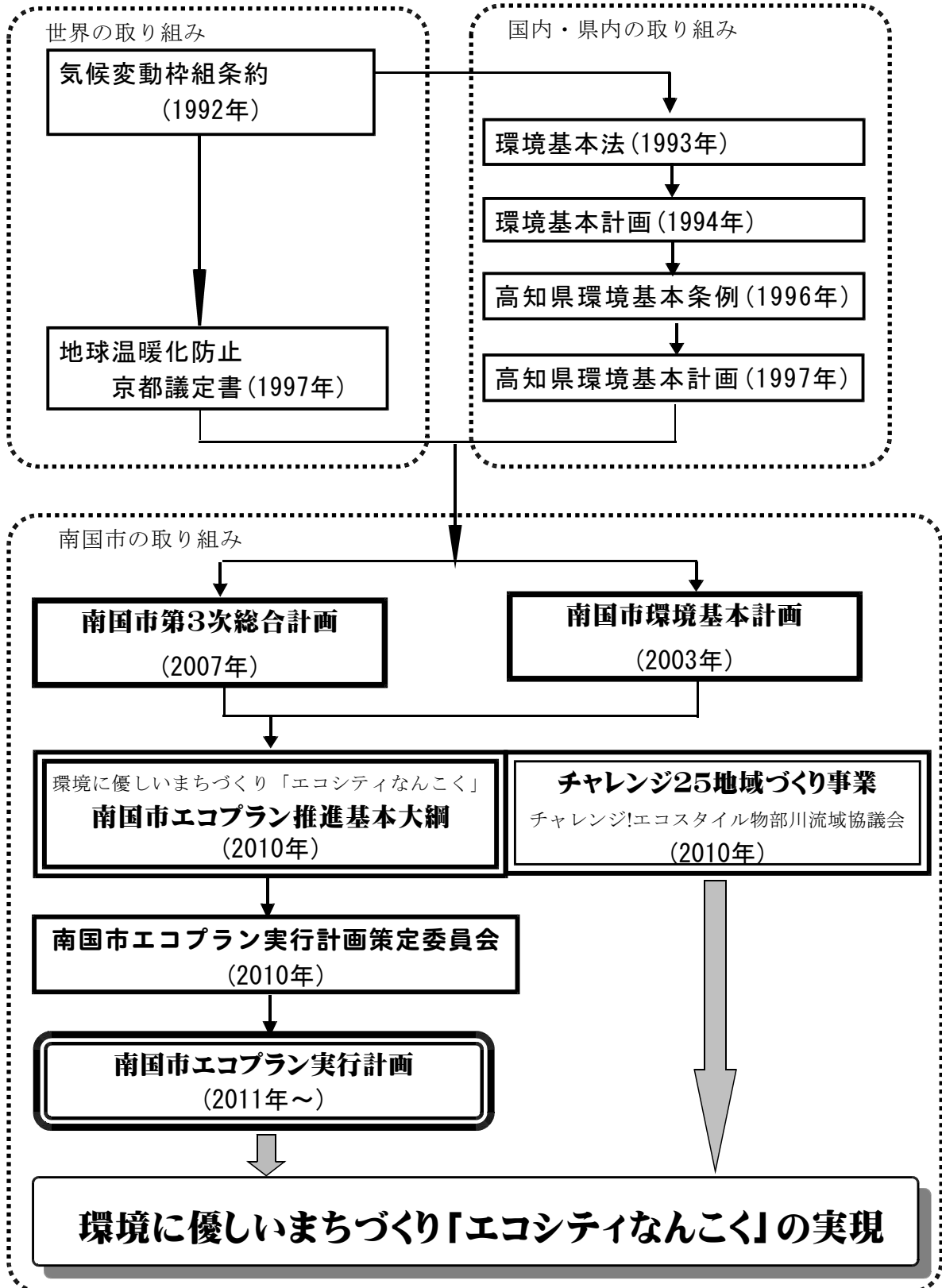
2. 南国市が目指すまちづくり

南国市が『環境に優しいまちづくり「エコシティなんこく」』を目指すための具体的目標を次に掲げます。

- (1)持続的発展が可能なまち（持続的な発展）
- (2)自然と人とが共生するまち（自然と人との共生）
- (3)エネルギーを有効に使うまち（省エネルギーの徹底と未利用エネルギーの有効利用）
- (4)環境と人に優しいエネルギーを作り出し使うまち（新エネルギーの導入）
- (5)環境産業の育成（グリーンニューディール）で地域の経済の活性化を図るまち（環境と経済の好循環）
- (6)省資源と資源の循環システムを確立するまち（資源循環型社会）
- (7)公共交通機関など環境に優しい交通インフラを利活用するまち（環境と人に優しい交通体系の整備）
- (8)環境を基調とする新しいまちづくり（環境先進都市）

3. 南国市エコプラン推進基本大綱の位置づけ

環境に関わる国際的・国家的流れにおける南国市エコプラン推進基本大綱の位置づけを次に示します。



4. 施策の大綱

(1) 環境に優しい暮らしの実現

【課題】

これまでの社会や生活の豊かさは、利便性・快適性を追求した大量生産・大量消費・大量廃棄といった物の消費量による考えが中心でした。しかし、環境への負荷が少なく持続可能な社会を築いていくためには、資源の消費を抑え、廃棄物を可能な限り資源として活用する資源循環型社会に転換していく必要があります。具体的には、私たち市民のライフスタイルを変え、消費や廃棄の過程で省資源・省エネルギーの意識を具体化させること、物品の再利用・再生利用を定着させる社会の仕組みづくり、日常行為と環境負荷をわかりやすくすることなどが挙げられます。

【施策の方向】

市民の意識改革とライフスタイルの転換、循環型社会実現のための仕組みづくりなどのため具体的に次のような施策を講じます。

- 日常生活での省エネルギー行動への推進
- グリーンコンシューマー（環境を大切にする消費者）の増加を推進
- 物品への愛着と『もったいない思想』に基づき長期使用を推進
- 4R（断る：Refuse、減らす：Reduce、再利用：Reuse、再資源化：Recycle）の推進
- 雨水等の利用促進

(2) 環境に配慮した社会・経済システムの整備

【課題】

市民のライフスタイルの転換とともにそれを持続させるためには、資源・生産・流通・消費などの社会・経済システムの構築が必要です。

【施策の方向】

すべての物品の生産・流通・消費・廃棄を循環型社会に適合させ、更に市民レベルの消費活動を環境に配慮させるような社会・経済システム構築のため次のような施策を講じます。

- エネルギー消費量の少ない物品等のグリーン購入を促進するための調達などに関する情報提供の推進
- 大気の特徴に生かした断熱省エネルギー技術を取り入れた建築物の推進
- 物品の設計段階にライフサイクルアセスメントの導入と普及の促進
- 製品の企画・設計段階におけるライフサイクルアセスメントの導入と普及・促進
- 省エネルギーの具体的な取り組み方法の知識や体験の学校教育や社会教育の場でのきめ細かな学習の推進

(3) 環境に優しいまちづくり

【課題】

省エネルギーと快適生活の両立を図るためには、エネルギー使用量を縮減しても地域の

快適性が保たれるような基盤整備が必要です。そのためには、快適空間の創出を個々のエネルギー消費抑制のみに期待するのではなく、地域単位で効率よくエネルギー使用が図られるような仕組みづくりが必要です。

【施策の方向】

地域として環境に配慮した効率的エネルギー消費を促進するために、新エネルギーの導入や環境負荷の少ない都市交通体系の整備、環境に配慮した都市施設や公園の整備、地域の環境特性に配慮したまちづくりを推進します。

- 南国市の特徴である日本有数の日射量を利用した太陽光発電・太陽熱有効利用などの新エネルギーの導入を推進
- 環境負荷が少なく、エネルギー効率の高い公共交通機関整備及び利用の促進
- 環境に配慮した公園の整備、街路樹の整備、道路舗装などの都市施設や歩くことが楽しくなるようなまち並みの整備

(4) 環境へ配慮した産業への構造転換

【課題】

環境にやさしい暮らしの実現、環境に配慮した社会・経済システムの整備、環境に配慮したまちづくりを推進し実現するためには、これらを具現化するための技術と産業の発展が不可欠です。エネルギー多消費型の産業構造から、環境負荷の少ない省エネルギー型産業への転換を図る必要があります。

【施策の方向】

環境負荷が少なく高付加価値のある低環境負荷型産業への転換を図り、廃棄物の削減・再利用の促進、廃棄物再資源化環境産業の誘致などを促進します。

- 地域産業の高付加価値型産業への転換、事業者の生産構造を環境配慮型産業への転換
- 新エネルギーや省エネルギーを積極的導入
- 基幹産業である農業経営への環境配慮思想の普及・導入

5. 重点施策

(1) 環境に優しいまちづくり「エコシティなんこく」を目指して

南国市の都市像は、物部川によって開けた平野の中に都市が立地する田園都市である。『環境に優しいまちづくり「エコシティなんこく」』を目指し、太陽と水を生かした自然と人とが共生する都市づくりを積極的に推進します。

(2) 新エネルギーの導入

環境負荷の少ない持続可能な社会を構築するためには、化石燃料に頼らない自然エネルギーやリサイクルエネルギーの導入が不可欠です。また、暮らしの豊かさを確保するためにも重要な取り組みとなっています。このため、新エネルギーを積極的に導入します。

(3) グリーン産業の導入による産業の振興

南国市には、土佐打刃物の製造、農機具部品製造、紡績、電子部品の製造、世界的シェアを誇る猟銃部品の製造など多品種の製造業があります。しかし、産業構造の変化や不況により、雇用は非常に厳しい状況にあります。

今後、「チャレンジ25地域づくり事業」の推進や「エコプラン実行計画」の策定により、新たな施策を取り入れ、グリーン産業への進出や南国市内の各事業所へ省エネ・新エネ施設関連資金の導入などにより、雇用の確保を図り、好循環する仕組みづくりを行います。

(4) 環境人づくり

本理念を実現し、環境への取組をまちづくりの基盤として施策を推進するためには、市民一人一人が自発的に取り組む推進体制を構築する必要があります。

そのため、行政はもとより全市的な活動を進める人づくりが不可欠であり、公民館活動を中心とした地域ぐるみの活動を展開し、更にこれらの活動を効率的に推進するため活動の主体となる人材の育成を図る必要があります。国が進めているスクールニューディール事業などを活用し、小中学校の太陽光発電や省エネルギーの導入などを通して小中学校生徒の環境教育を進め、PTAや地域事業者などと連携した人づくりを目指します。

6. 市・市民・事業所の役割

(1) 南国市の役割

①環境教育・環境学習の推進

- 『もったいない思想』の普及に努め、エネルギーを浪費しない暮らしの情報発信
- 環境活動に関わる様々な市民的な取り組みに対する積極的支援及び環境保全に関する市民の知識の向上と意識の高揚
- 小中学校、PTA、地域の事業者、地域コミュニティー、高齢者学級などの教育の機会を活用した地域ぐるみの活動展開の推進と活動の主体となる人材の育成

②率先的な取り組み

- 物部川流域3市（南国市、香南市、香美市）や3市内の機関・団体に構成した「チャレンジ!エコスタイル物部川流域協議会」が取り組む「チャレンジ 25 地域づくりモデル事業」における二酸化炭素排出量削減計画の策定
- 南国市全体の地球温暖化対策を実行し、新エネルギーや省エネルギー導入推進のための市民・事業者・学識経験者などによる「南国市エコプラン実行計画」の策定と推進
- 地球温暖化防止の推進や新エネルギー・省エネルギーなどの導入支援制度の充実と推進体制の整備
- 住宅用太陽光発電システムなど国の補助制度活用や南国市としての補助制度を充実し、市民への新エネルギー・省エネルギー導入の支援

③ 公共施設への新エネルギーの率先導入と省エネルギー対策の推進

- 南国市庁舎、学校、福祉施設、公園など市民の利用機会が多い公共施設に対する新エネルギーの積極的導入と省エネルギー対策の実施
- 道路電光表示、街路灯、防犯灯などに太陽光発電、小型風力発電などの導入
- 災害時避難施設非常用電源確保のための太陽光発電などの導入
- 公用車更新時の電気自動車などクリーンエネルギー自動車の導入

(2) 市民の役割

① ライフスタイルの見直し

- 日常生活における貴重なエネルギー節約の認識と化石燃料消費縮減のためのライフスタイル変換
- マイカー自粛とバス・鉄道など公共交通機関利用による化石燃料節約や温室効果ガス削減への取組
- 国・高知県・南国市などの支援制度の積極的活用

② 省エネルギーの推進と新エネルギーの導入

- 冷暖房の控えめな温度設定などによる日常生活における無駄なエネルギー消費の抑制
- 住宅の新築やリフォーム時のエコ給湯・省エネルギー家庭電化製品や太陽光発電・太陽熱利用機器などの省エネルギー・新エネルギーの導入

③ グリーンコンシューマー

- 省エネルギー・新エネルギー支援制度及びエコポイント制度の積極的活用
- 低炭素社会・循環型社会の実現に関わる市民レベルの積極的提案
- エネルギー問題や環境問題などに取り組むボランティアやNPOの活動への積極的参加

(3) 事業者の取り組み

① 省エネルギー・新エネルギーの導入

- 事業所のエネルギー需要特性に応じた新エネルギーの積極的導入と事業活動におけるエネルギー管理・省エネルギー対策の実施
- 事業所への太陽光発電・燃料電池などの新エネルギー導入の推進
- 導入した省エネルギー・新エネルギー技術の積極的開示と取組のPR
- 小中学校生徒に対する地球温暖化や新エネルギーに関わる授業や実習への事業所の現役技術者・OBの講師としての参画

② 省エネルギー、新エネルギー分野の研究開発の促進

- 事業所が持つ省エネルギーや新エネルギー関連の技術・ノウハウを生かしたエネルギー利用方法や機器の研究・開発の促進
- 産官学の情報交換、人的交流・技術交流などへの積極的参加による省エネルギー・新エネルギー・二酸化炭素抑制に関わる新技術の開発や事業化の推進
- NEDOなどの実証実験や研究開発への積極的参画による環境に配慮した製品開

7. 推進体制及びスケジュール

(1) 推進体制

- 市民・事業者・行政による「南国市エコプラン実行計画」の立案・推進のための「南国市エコプラン実行計画策定委員会」の設立
- 「南国市エコプラン実行計画」の推進における市民の参加
- 誘致と起業による省エネルギー・新エネルギー関連企業の参画
- 大学・工業高等専門学校などとの協働による計画推進の加速
- 国・高知県の支援を受ける

(2) スケジュール

「南国市エコプラン実行計画」での立案事項は、技術の完成度、財政状況、費用対効果などを勘案し、短期的なものの中長期的なものに分類し実行に移す。主として前述の重点施策の項目について以下のスケジュールで推進する。

① 短期的取組（2010年～2012年）

- 南国市としての環境に関（かか）わる基本計画である「エコプラン実行計画」の策定、地球温暖化防止策の立案
- 国が再開した住宅用太陽光発電補助事業の導入促進、小中学校への太陽光発電の導入推進
- スクールニューディール事業の推進
- 広報、普及啓発活動の推進

② 中長期的取組（2013年以降）

- 「チャレンジ 25 地域づくりモデル事業」による、2020年までに1990年比二酸化炭素25%削減計画具体案の作成と南国市の施策・計画への反映
- 新エネルギー分野での大規模太陽光発電や太陽熱利用、小水力発電、地熱、木質バイオマスなどの導入推進の検討と民間事業者による事業化の支援
- 公共施設への省エネルギー・新エネルギーの導入推進
- 事業所に対する省エネルギー・新エネルギーの導入支援
- パークアンドライドなどの事業導入と公共交通機関の整備及び利用の促進
- 地域再開発計画と環境に優しいまちづくり計画の立案と推進

8. 成果の公表

(1)「南国市エコプラン実行計画」の公表

「南国市エコプラン実行計画」の策定状況や取り組み、具体的な施策について、広報やホームページで公表します。

公表の時期は、平成 23 年度の初めとします。

(2)温暖化防止効果の公表

南国市の具体的な温暖化防止施策や取り組み状況を広報やホームページで、できるだけ具体的定量的に公表します。

公表の時期は、各年度の施策や取り組みなどの結果を次年度の早期に行うものとします。



**環境に優しいまちづくり「エコシティなんこく」
南国市エコプラン推進基本大綱**

平成22年3月 策定

事務局 南国環境課環境係
高知県南国市大桶甲2301
電話 088-880-6557(直通)
Fax 088-863-1173